



日本共産党市会議員

2025年 6月 9日

庄本けんじ

携帯 090-6665-9401

議員控え室 0798-35-3368

活動ニュース

西宮市の子育て支援はどうなる

保育所の待機児童76人



西宮市の4月1日現在の保育所待機児童数は76人でした。市の待機児童対策が依然としてすすんでいません。お隣の尼崎市の待機児童は6人でした。本来、待機児童はゼロでなければなりません。ところが、西宮市は、義務を果たすことなく、ひどい状態を放置しつづけています。庄本けんじ議員は、保育所の待機児童問題を繰り返し追及してきました。ひきつづき、力を合わせ、解決にむけて頑張ります。

3月議会でも保育所の待機児童問題を取り上げました

まず、保育所の待機児童対策は西宮市の喫緊の課題のはず。市長はどう思うか。

保育所の待機児童を解消する課題は、市の喫緊の課題のはず、市長の認識はどうか、まず冒頭で、そのことについて質しました。市長は、「解決すべき最重要課題の一つであると認識しております」と、答弁しました。しかし、現実、待機児童の解消には遠く及ばない事態が続いているのです。



なぜそのようなことが起きているのか。

それは、市が待機児童対策の方針と計画を持たないからです。

西宮市は、毎年、保育所の待機児童数を公表していますが、そこでしめされている内容は、「小規模保育事業所の開設や私立幼稚園の認定こども園への移行等により、170人分の受入枠拡大を図りましたが、依然として、就学前児童に占める保育所等を希望する割合（保育需要）は増加し続けています。今後も不足する受入枠拡大に向けて、より重点的に取組みを進め、待機児童の早期解消に努めてまいります」とあるだけです。

毎年、この程度のことで、「待機児童対策」と言い募っているだけなのです。これでは、待機児童解消への対策は進むはずがありません。

「幼・保」の統廃合計画は中止、待機児童解消の方針と計画を

西宮市は、保育所の待機児童を解消する方針を持つことなく、まったくの無策の状態を放置し続けています。その一方で、公立の幼稚園と保育所を統合させ、保育定員を231人減らす計画を、それこそ「着実」にすすめています。とんでもないことです。市は、公立の「幼・保」統廃合計画を中止し、保育所の待機児童を早期に解消し、希望する保育所に申し込めば、すべての子どもがそこに入所できるようにすべきです。

保育所の待機児童解消は市の緊急課題

市長は保育所の待機児童解消に全力を

○庄本けんじ（保育所の待機児童問題に関連しての質問）

三つ目の質問は、保育所の待機児童対策についてです。西宮の保育所の待機児童の現状は依然として深刻です。昨年4月、待機児童数が前年比で65人増の121人でした。この問題を議会で私が取り上げたとき、市長は、答弁の冒頭で謝罪をされました。それほどに重大な問題なのです。市政の最重要課題と位置づけるべき問題です。

そこでお尋ねいたします。保育所の待機児童を解消する課題は市の喫緊の課題であり、最重要課題であるという認識に今も変わりはないと明言できますか。市の認識をお聞かせください。

その上で、待機児童対策の目標について重ねてお聞きしておきます。政府基準の待機児童をゼロにするという目標は、言うまでもなく今すぐにも達成すべき課題です。しかし、そもそもの待機児童対策というのは、希望する保育所に入所できない人をゼロにすること、つまり子どもたち全員が希望する保育所に入所できる、これを目標にすべきです。市は、かねてからそのように明言してきました。この方針は今も変わらず持ち続けていると信じてよろしいでしょうか、お答えください。

○市長（石井登志郎） 続きまして、保育所の待機児童対策についての御質問にお答えをいたします。まず、待機児童対策は西宮市が即刻解決すべき重要課題であるとの認識に変わりはないかということについてでございます。

令和6年4月1日現在の待機児童数は、前年から65名増加して121名となりました。保育所等の入所を希望されているにもかかわらず入所できていない児童がいることについて大変重く受け止めており、解決すべき最重要課題の一つであると認識しております。

続いて、希望すれば全員が入れることを目指すという目標は引き続き堅持するのかの御質問にお答えをいたします。本市では、保護者が安心して子供を預け就労等ができる環境を提供できるよう、国の定義する待機児童だけでなく、保育所等に入所できなかった利用保留児童の状況も勘案しながら、施設整備等を行い、受入れ枠の拡大を図ってまいりました。しかしながら、年々保育需要は増加し続けているため、まずは待機児童の解消を最優先課題として様々な対策を進めてまいりたいと存じます。以上です。

しかし、実際には、この4月1日現在西宮の保育所の待機児童は76人。

最後に、今日の質問全体を振り返って強調したいのは、今、西宮市政だけではありません、政治全体の改革、それは、タワーマンションでなく保育所を、こういう流れをぜひつくっていただきたいのと、もう一つは、多忙化は教員だけではありません。ゆとりある生活をつくっていく、ゆとりある働き方、このゆとりと言えば、コストカット経済では無駄です。無駄な時間なんですね。しかし、このゆとりある時間こそが人類発展のもとになる、時間は人間の発達の場合なんです。ですから、ゆとりをつくるという取組は人類的な発展に貢献できる、そういうものだという位置づけで私たちはこの問題を取り上げています。ぜひともこの西宮市においても、政治全体、特に市長は政治家ですから、政治全体を変えるという立場で行政に当たっていただきたい、そのことを述べて、質問といたします。以上です。（拍手）

住民要求実現へ西宮市の根本的転換をめざします